

No.8 R. シュトラウスの《無口な女》

■講座内容

リヒャルト・シュトラウスがホフマンスタールの台本に作曲したオペラから、2016年度に《ばらの騎士》、2017年度に《アラベラ》を取り上げました。シュトラウスが《アラベラ》を作曲中の1929年、ホフマンスタールが急逝し、二人の共同作業は突然に幕を閉じ、新たな台本作家としてシュテファン・ツヴァイクが選ばれ、《無口な女》が作曲されます。ツヴァイクと気の合ったシュトラウスは、次の台本も依頼しますが、その頃はすでにナチスの政権下。ユダヤ人だったツヴァイクは政権からの圧力で亡命。ツヴァイクとの共作はこの一作だけで終わりますが、シュトラウスがもっとも興に乗って作曲したオペラとも言われています。今回はこの喜劇オペラ《無口な女》を取り上げ、台本を読み進めながら、映像で鑑賞します。

■開講日時 5月15日(金)～11月20日(金) (全6回)

■担当講師 最上 英明(香川大学大学教育基盤センター教授)

■募集人員 30人

■受講対象 一般成人

■会場 香川大学地域連携・生涯学習センター

■受講料 6,000円

■受付締切 5月7日(木)

回	月日	時間	テーマ
1	5月15日(金)	10:00～12:00	第1幕(1)
2	6月19日(金)		第1幕(2)
3	7月17日(金)		第2幕(1)
4	9月18日(金)		第2幕(2)
5	10月16日(金)		第3幕(1)
6	11月20日(金)		第3幕(2)